

秘

外口宣信情報 第七十七號

昭。一六。八。八情報局

本資料は外口發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣信の意口による作爲的なる報道も少からざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎米依然として對日宥和策

米の對日禁油に關し重慶方面より出づる放送は米が禁油断行による日本の南進促進を懸念し宥和策を講じありたる不明を遺憾とし、今回の禁油断行を大歓迎するも今尙輸出の抜穴ある宥和策に外ならず、米自身によりても大なる位相なりと完全禁油断行を懸念しあり。

△重慶電 八月二日

重慶政府外交部長郭泰祺は本日記者口と會見席上に於て左の如く述べた。

泰の滿洲國承認は日本の壓迫によるものとして日本は南部佛印進駐後既に其の矛先を泰

に向け現に實際行動を取りつゝある、從來米が全面的對日禁輸を断行せば、日本の口印
新嘉坡攻略を促進するに懸念されてゐたが、之は全然間違つた見解で、若し日本が南進
に就いて十分なる實力及び自信を持つてゐることは、米の禁輸如何に拘らず之を断行
するであらう日本の既定方針は勿論及近東戰の成行を待つて次の行動を取らんとす
るものであるから當分尙靜觀を續けるであらう。米は今や對日有和政策を棄てて直接關
連行動を取る様に變つて來たときは注目に値する。

△前同(ワシントン)八月四日

英字紙「ワシントンヘラルド」は「統索を締めよ」と題する社説を掲げてアメリカの石油輸出制
限を討した後、どうして日本に對してまだ幾分でも石油の輸出を許してゐるのかと問ふて
次の如く述べてゐる。「アメリカ政府が最近石油の輸出制限を發表したにも拘らず日本の
首に繋附けられた統索はまだ充分に固く締められてはゐない。またこの法令には抜穴があ
る。日本は工業の需要を充す爲に戰前の量を超過しない程度で石油製品を買ふことが出來
る。この法令はアメリカの襟度を示してはゐるが、部分的宥和を残してゐる。國家が近代
戰を行ふ能力はその口の工業力に依存してゐる。故にアメリカが日本に石油を與へる限り
日本の武器は強化されるであらう。日本が侵略國家であることは全く疑ひなく、全世界の
人々によつて認められてゐる事實である。何故日本がアメリカ又は地球上のどこからも一箇

の石油をも得られないやうにして統索を完全に締めるやうに更に要を迫めないのか」

◎米、對日作戰を懼れず

米系電報より出づる放談は、米は敢て對日挑戰するに非ざるも、日本が現在の侵略行爲を繼
續する限り、忍耐の限度あり、場合によりては整備したる軍力を以て對日作戰も恐れずな
りと宣傳しあり。

△民主(ワシントン)八月三日 北京電放談

(華府發)昨日米國政界は「ルーズヴェルト大統領は飛行機用油、潤滑油の對日禁輸を聲
明せり」と發表「米國は日本の報復手段を懼るるものにあらず、即ち米國は既に極東に軍
隊及び海軍の準備を整へあるなり、もし必要に於ては米國は極東に於て作戰すべし。之を
國の對日挑戰の意にあらず、實に米國は忍ぶべからざるを忍べるなり、ルーズヴェルト大
統領は故に禁油令の發布をも遲らせり、之日本の反省を求めたるなり、されど日本は一切
を省みず米國の作戰を行はんとし米國の極東に於ける利益を破壊せり、故に已むを得ず
して此の舉に出たるなり」と強調せり。一般の信する所に依ればルーズヴェルト大統領の